

科目名		運動学実習		授業の種類	実習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 本講は運動学で学んだ知識を応用し、実習形式で理解を深めるための科目である。 授業では身体運動を自身で体験したり、他者を観察することで、運動を客観的に捉える練習をする。さらにその運動が生じるメカニズムを論理的に説明できるようになることを目指す。 〔授業全体の内容の概要〕 最初に動作観察と動作分析の意義を説明した上で、基本動作について実習形式でその方法を学んでもらう。また運動解析についても基本的な内容の講義、実演を行う。 〔講師の実務経験〕 〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 正常な基本動作を文章で記述できる。またその動作を運動学的に説明できる。 運動学習のいくつかの理論について説明できる。								
回数	講義内容							
1	観察と動作分析の意義							
2	"							
3	"							
4	"							
5	運動連鎖/荷重連鎖							
6	"							
7	歩行動作(各論)							
8	"							
9	"							
10	"							
11	姿勢観察(臥位)							
12	"							
13	姿勢観察(坐位)							
14	"							
15	姿勢観察(立位)							
16	"							
17	動作観察(起居動作)							
18	"							
19	"							
20	動作観察(立ち上がり)							
21	"							
22	"							
23	"							
24	動作観察(歩行)							
25	"							
26	"							
27	"							
28	"							
29	"							
30	"							
	定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
筋骨格系のキネシオロジー				Donald A Neumann		医歯薬出版		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
筆記試験で評価します。								